学校番号	119

平成 31 年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校美術３　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰ、Ⅱの学習を踏まえ、絵画・平面デザインの作品をテーマ設定、制作計画を自ら立て、主体的に制作します。１学期前半は油絵小課題、１学期後半・２・３学期は芸文祭・２ブロック展に出品する作品制作をします。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動を通して、美術文化を豊かにとらえ、見方や考え方を深め、主体的に表現や鑑賞の創造活動に自己の価値観に基づいて取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じとったことや、考えたこと、目的、機能、美しさなどから独創的に主題を生成し、個性を生かして創造的な表現の構想を追及している。	個性を生かし、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、主題に応じて表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて読み取り、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 レポート ワークシート 作品 出欠状況	ワークシート 作品	制作途中の作品 作品	レポート 鑑賞の様子 発表内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期前半	油絵小課題	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・静物のスケッチを行い、観察力、ものの構造を理解する。 ・スケッチを基に油絵で立体感・混色、道具の扱いの基礎を学ぶ。	○	○	○	○	a:画材・道具の特性やモチーフの特徴・構造等を理解し、モチーフを忠実に主体的に表現しようとしている。 b:モチーフをよく観察し、構図や配色等構想を練っている。 c:モチーフの立体感や質感を捉え個性的な表現方法を工夫している。 d: 互いの作品のテーマ・表現の違いをよく鑑賞し、そのよさを味わっている。	鑑賞の様子 ワークシート 作品 鑑賞の様子
1学期後半・二・三学期	自由制作	【絵画・彫刻】【デザイン】 【鑑賞】 ・自由制作 作品テーマを設定する。 展覧会(1 学期-高校展、2,3 学期-芸文祭)に出品を前提に作業計画を立てる。 ・作品合評会	○	○	○	○	a:自己の価値観に基づき、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいる。 b:自己の内面の想い、考えを基にテーマを設定し、創造的な表現の構想を練っている。 c:主題に合った表現材料、用具を吟味し、個性を生かして創造的な表現を工夫している。 d: 他者の作品から作者の意図、創造的な表現の工夫など、多様な視点から分析理解し、よく鑑賞している。	制作の様子 ワークシート 作品 鑑賞の様子 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力

c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。